

目 次

建学の精神

バッチの言葉

創立者 水田三喜男について

学校法人城西大学におけるコンプライアンス

校地・建物略図

学生生活のしおり

学生証(身分証明書) ……………	2
掲示板 ……………	4
授業関係 ……………	4
学籍関係 ……………	7
授業料および施設設備費 ……………	8
学生相談 ……………	9
健康管理 ……………	9
奨学制度 ……………	10
アパート ……………	13
アルバイト ……………	14
遺失・拾得・盗難 ……………	14
自動車通学 ……………	15
共済事業 ……………	15
諸届 ……………	15
その他 ……………	16
諸願・届一覧 ……………	16
証明書 ……………	17
学生通則 ……………	19
キャリアサポートセンター ……………	26
水田記念図書館 ……………	32
水田美術館 ……………	42
東京紀尾井町キャンパス ……………	44
情報科学研究センター ……………	46
語学教育センター ……………	56
国際教育センター ……………	62
JEAP(城西大学海外教育プログラム) ……	64

経済学部 経済学科

履修の手引と手続

I 授業科目について ……………	86
------------------	----

II 授業科目の単位と認定 ……………	86
III コース制について ……………	86
IV 進級条件について ……………	86
V 卒業について ……………	87
VI 履修単位の上限について ……………	87
VII 授業科目の学年配当と修得すべき 単位数 ……………	88
VIII 授業科目の履修申請 ……………	109
IX 正規の履修からはずれる場合 ……	109
X 試験について ……………	110
XI 成績発表 ……………	112
XII GPA について ……………	113

現代政策学部 社会経済システム学科

履修の手引と手続

I 授業科目について ……………	116
II 授業科目の単位と認定 ……………	116
III 進級条件について ……………	116
IV 卒業について ……………	117
V 履修単位の上限について ……………	118
VI 授業科目の学年配当と修得すべき 単位数 ……………	119
VII 授業科目の履修申請 ……………	140
VIII 正規の履修からはずれる場合 ……	140
IX 試験について ……………	141
X 成績発表 ……………	142
XI GPA について ……………	142

経営学部 マネジメント総合学科

履修の手引と手続

I 授業科目について ……………	146
II 授業科目の単位と認定 ……………	146
III 進級条件について ……………	146
IV 卒業について ……………	147
V 履修単位の上限について ……………	147
VI 授業科目の学年配当と修得すべき単位数 ……	147

VII	授業科目の履修申請	168
VIII	正規の履修からはずれる場合	168
IX	試験について	169
X	成績発表	171
XI	GPAについて	171

理学部 数学科・化学科

履修の手引と手続

I	授業科目について	174
II	授業科目の単位と認定	174
III	卒業について	174
IV	学科別授業科目の学年配当と修得すべき単位数 (数学科)	175
	(化学科)	186
V	授業科目の履修申請	197
VI	正規の履修からはずれる場合	197
VII	試験について	197
VIII	成績発表	199
IX	GPAについて	200

薬学部 薬学科

履修の手引と手続

I	授業科目について	202
II	授業科目の単位と認定	202
III	進級基準	202
IV	卒業について	204
V	授業科目の学年配当と修得すべき単位数	204
VI	授業科目の履修申請	217
VII	正規の履修からはずれる場合	217
VIII	履修上の注意	218
IX	試験について	218
X	成績発表	220
XI	GPAについて	220
XII	試験における不正行為の懲戒について	221

XIII	薬剤師国家試験	221
XIV	薬学部薬学科における卒業後に取得可能な主な資格	221
XV	病院実習・薬局実習について	222

薬学部 薬科学科

履修の手引と手続

I	授業科目について	223
II	授業科目の単位と認定	223
III	進級・履修について	223
IV	薬科学専攻の特例受験について	225
V	卒業について	225
VI	授業科目の学年配当と修得すべき単位数	225
VII	授業科目の履修申請	238
VIII	正規の履修からはずれる場合	238
IX	履修上の注意	239
X	試験について	239
XI	成績発表	241
XII	GPAについて	241
XIII	試験における不正行為の懲戒について	242
XIV	薬学部薬科学科において取得が有利な主な資格	242
XV	臨床検査技師国家試験受験資格の取得について	243

薬学部 医療栄養学科

履修の手引きと手続

I	授業科目について	244
II	授業科目の単位と認定	244
III	進級基準	244
IV	卒業について	246
V	授業科目の学年配当と修得すべき単位数	246
VI	授業科目の履修申請	259
VII	正規の履修からはずれる場合	259

建学の精神

水田 三喜男

われわれが、昭利 40 年 4 月に、総合大学として城西大学を創設したのは、一つには、近來向上しつつある国民の進学要望に応えるためであり、二つには、国家社会のよりよき形成者としての人材の育成は、既成の大学だけでは充分でないと考えたからである。

いうまでもなく、学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段である。立派な人間によってのみ、立派な社会がつくられるのだから、現世のために、後世のために、国家社会の重荷にたえられる人材の教育を天職として、拳学その責に任じたいと考え、この大学を創設したのである。

そのためには、大学の校地は都塵を避けた秩父山麓檜ヶ丘の高台に、富士山と上毛の山々と高麗の清流を望む広大な地域を選び新しい施設と設備を造りあげた。

この絶好の教育の場に、優れた研究者で識見の高い教育家を教授陣に迎え、その智と和を一体とした熱意ある指導のもとに、高き理想をもち、真理と正義にひたむきで、英知と人間愛と勇氣に充ち、精神的推進力を持った現下社会の要求する有用な人材の育成を目指して、特色ある学風を創り、国家社会の発展に寄与したいと念願している。

大学はまた、われわれが日々生活をともにしている自然ならびに社会に関する基礎的な理論とその歴史的な発展の諸法則を科学的に研究すると共に、実社会において、その应用能力を発揮するための思考力と実践力を身につけることを主眼として学生の教育に当たっているが、この武蔵野の一角に、その象徴としての檉の大樹のように、新しい文化の創造育成につとめたい。

〔創立者・初代理事長〕



バッチの言葉

- ① 大学バッチは円形台地に十の字の羅針をおき、東西南北の区割にそれぞれケヤキの葉三枚を配し中心に大の字を置き、小円でかこみ更に大円を描いて全体をまとめている。
- ② 十字の羅針は、人生行路の指針を誤らせないための方位を示して大志をもつ青年に注意を喚起している。
- ③ 三枚のケヤキの葉は、本学の象徴として、ケヤキの葉に托している三つの意義と人生に必要な三つの要素を示している。即ち、ケヤキに托した三つの意義とは、学長が入学式の際、学生に示した建学の精神のように、
 - ④ケヤキは大樹となるので、大器になってもらいたいこと。
 - ⑤ケヤキは大家の柱となることにならい、国家社会の柱となるように、自らにも背骨としての柱をいれてもらいたいこと。
 - ⑥ケヤキは武蔵野のシンボルであること。などの意義と見識をもちこんでいることである。またケヤキの葉に托した人生に必要な三つの要素とは④理智⑤愛情⑥勇気である。
- ④ この三葉に托した意義と見識を、羅針の四つのそれぞれの区画に配したのは、どの道に進もうとも、必要なことであり、身につけておかねばならないことであることを表示している。
- ⑤ 大の字をかこむ中心の円は、バッチの台地が示す大地に立って、合理性の上に立ち円満に調和を果たすことの素地を確認させ、更にケヤキの葉を囲む四つの円は、より大きな合理性に立つ大局的な判断と、真理性、真実性への精進が、人生行路には必要であることを強調しているのである。
- ⑥ 以上の意義と理想とを、このバッチに籠めて学生と大学の関係者が、城西大学の建設と発展に地道な努力と意欲を燃やそうというわけである。

●創立者 水田三喜男について

本学の創立者水田三喜男は1905年（明治38年）、千葉県安房郡に生まれ、安房中学から水戸高校を経て京都大学法学部に進みました。学生時代は反戦・反軍の学生運動に参加し、新しい社会づくりのために情熱を燃やす若者でした。1946年（昭和21年）には戦後初の衆議院選挙で初当選し、以来30年にわたって議員を務め、通産大臣・大蔵大臣を歴任し、日本の経済復興と成長に尽力したことは高く評価されています。一方、若き日に小学校の教壇に立って以来、「教育」に対する熱意も大きく、「国をつくるためには、優秀で、人間としての魅力にあふれた人材を育てなければならない」と考え、義務教育費や文教施設費の国庫負担や私学助成の事業にも力を注いできました。そして、1965年（昭和40年）4月に城西大学を創立し、その教育に対する夢を実現したのです。



●創立者 水田三喜男の想い

- ①大学を創設し「国家社会のよりよき形成者としての人材の育成」に貢献する。
- ②教育は永遠です。人作りこそ次の世代の日本を形成する。未来の日本を作る仕事程意味深いものはない。大変かもしれないがやってみたい。
- ③日本の国民は、これから国際社会で尊敬される国民にならなくてはならない。

むずかしい学問はともかくとして、取りあえず、

- ・正直であって嘘を言わないこと
- ・自分のことばかりでなく他人のことも考えること
- ・親を大切にすること

この3つのことだけでも身について国民性とみられるようにでもなったとしたら大したことである。

- ④水田三喜男先生の終生座右の銘 「 偽らず・^{いつわ}欺かず・^{あざむ}諂わず 」

●教職員・学生に期待すること（創立者 水田三喜男の言葉より）

- ①実社会において、その応用能力を発揮するための思考力と実践力を身につけることを主眼として学生の教育に当たっている。 （「建学の精神」）

- ②智と和を一体とした熱意ある指導のもとに、高き理想をもち、真理と正義にひたむきで、英知と人間愛と勇氣に充ち、精神的推進力を持った現下社会の要求する有用な人材の育成を目指して、特色ある学風を創り、国家社会の発展に寄与したいと念願している。

（「建学の精神」）

- ③人間の形成は完成された環境の力にのみ求め得られるのではなくて、新たな環境を作り出さんとする苦悩と努力の力にこそ求められるものである。

（第1回卒業式告辞、昭和44年）

- ④他人によってつくられ、他人によって与えられた環境であると思うところに、不平と不満は起るものでありますが、自分の手によってこれから新たに創らるべき社会であると観ずるならば、諸君の学びとった経験と自覚は常に諸君を勇氣づけるものとなる。

（第1回卒業式告辞、昭和44年）

- ⑤他校の卒業生に比べて態度が謙虚であること、てらいや威張りがなくて勤労をいとわず、明朗で人に好かれるという好評をすら多く得ております。（第8回卒業式挨拶、昭和51年）

- ⑥開拓者の自覚を持ちつづけられ、これからの自分の環境社会のために、自分自身の御家庭のために、特にこれから何万人にもなろうとする母校の後輩卒業生のために、頑張ってください度いと存じます。

（第8回卒業式挨拶、昭和51年）

学校法人城西大学におけるコンプライアンス

(学校法人城西大学には、法人本部、城西大学、城西国際大学及び城西短期大学を含み、以下「本法人」という。)

「コンプライアンス (compliance)」とは、「法令・規則等の遵守」とされるのが一般的ですが、その由来とされる「Comply with another's wish」からすれば、コンプライアンスの本質は、「人々の願い・期待・要請に応える」ことと考えられます。

本法人ではコンプライアンスを法令遵守としてだけの狭い意味で捉えず、社会規範、社会的責任等を含めた広い概念として捉えています。

したがって、教職員、学生ともに「学問による人間形成」という建学の精神と理念を実現するため、創立者水田三喜男の考え方を礎石に、法令・規則等の遵守はもとより、高い倫理観に基づき、誠実かつ公平・公正に責務を遂行し、もって大学の社会的責任 (University Social Responsibility) を果たすことが、本法人における「コンプライアンス」の意味するところとなります。

コンプライアンス (compliance) の概念



1. 本法人の理念

「社会が発展するために必要とされる人材を育成することによって、人類の福祉に貢献すること」

2. 学生の行動指針

1. 大学の使命の自覚と取り組み

私たちは、大学の使命を自覚して、本学の建学の精神「学問による人間形成」を深く理解し、本学の構成員として勉学・研究、課外活動及び社会貢献活動に真摯に取り組めます。

2. 法令・規約の遵守と高い倫理観

私たちは、法令及び学内諸規則を遵守するとともに、学生である前に社会の一員であるという意識を忘れることなく、社会規範に従い高い倫理観を持って、社会的良識と責任に基づいて誠実に行動します。

3. 人権尊重・学びの環境

私たちは、一人ひとりの人権と人格を尊重し、差別、偏見及びハラスメントのない、健全な学びの環境を維持します。

4. 学びの姿勢

私たちは、創造性・積極性そして開拓精神を持ち続け自ら研鑽し、より良き社会の形成者となることを目指します。

5. 公正な研究活動

私たちは、社会からの信頼と負託を受けていることを自覚し、研究倫理を理解・遵守し、常に正直・誠実に判断し、研究活動の実施及び研究成果の発表を行います。

6. 健全な学生生活

私たちは、学生の本分を守り高き理想と目標を持って日々努力精進を重ね、有意義で充実した健全な学生生活を送ります。

7. 地域社会への貢献・連携

私たちは、常に地域社会への貢献や連携を考え、地域社会の一員として責任ある行動をし、豊かな人間関係を築き信頼の確保に努めます。

●コンプライアンスに関する相談窓口

コンプライアンス統括室でも相談を受け付けています。

対応時間：10時～17時（平日のみ）

コンプライアンス統括室窓口

電話番号：03 - 6238 - 1205（直通・FAX兼用）

手紙宛先：〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26
学校法人城西大学 コンプライアンス統括室

Eメール：compliance@josai.ac.jp